

都市整備

建築無制限時代到来に対し まちづくり条例の制定を

齊藤 進議員(フォ) マンション建設等をめぐり、住民と事業者のトラブルが相次いでいるが、届け出の義務づけや事前規制を可能とするまちづくり条例を市民参加で制定できないか。

市の都市計画マスタープランの理念を守り、地域別整備構想を実現するため必要なものは、住民への制度の周知や議論のためのサポートシステムを構築すべきと考えるがどうか。

現在の都市計画法、建築基準法の影響に対する認識は。

市長 要綱等を再検討し新たなルールづくりに取り組みたい。

都市計画マスタープランを補完する機能として、新たなルールづくりは必要と考えている。

より効果の上がる方法等について検討していく。

緑の町が壊されようとして いる宅地開発

華表 暁議員(共産) 御幸町の都民銀行のグラウンド跡地、上水南町の沖電気のグラウンド跡地等の宅地開発について、市の基本的な姿勢は。また、どのように指導してきたのか。

行政がもっと指導責任を果たすべきであり、現在の宅地開発指導要綱を強化する必要があるのではないか。市民参加のまちづくり条例制定の段階に来ているのではないかと。

市長 都市計画法に基づくと

市長 都市計画法に基づくと

地開発の許可権者は都知事となっている。開発許可申請者は、あらかじめ開発行為により帰属を受ける公共施設の管理者と協議し同意を得なければならぬとされている。市の指導としては、宅地開発指導要綱に基づき事前に事業者と協議している。

都市計画を含め現在の要綱等を再検討し、新たなルールづくりに取り組んでいきたい。

小川町一丁目の区画整理 事業と都市計画道路の整備

石塚信治議員(政和) 小川町一丁目西部地区土地区画整理事業について、地元農地所有者により結成された組合設立準備会の今までの取り組み状況は。

今後の事業の予定は。

地元地権者の事業に対する賛同状況はどうなっているか。

この地区の都市計画道路は、十二小通りの安全対策等から重要路線と認識するが、計画は。市長 事業地区の調査等を行い、計画案を作成し、関係地権者と調整しているところである。

平成15年度中に都知事承認の小川町一丁目地区の農地



可を受け、平成22年度までに事業を完了する予定である。

農地所有者全員から賛同が得られているが、宅地地権者は引き続き条件等の調整を図ると聞いている。法人地権者は協力が得られる見通しとなった。

整備の必要性は認識しているが、慎重に検討を進めたい。

小平駅北口開発と 交通対策

永田政弘議員(政和) 小平駅北口の、都市計画道路と駅前広場の実現化への経過はどうなっているか。

計画を中止するなり実現に向かうなり、方向性だけでも住民に示すべきと思うがどうか。

計画の見直しはできないか。できないならば、次期の長期総合計画の中に組み入れることはできないか。

市長 昭和37年に都市計画決定をしたが、現時点では未着手の路線である。



小平駅北口広場

計画変更の考えはないが、実現化にはまちづくりと一体の整備の検討が必要であり、地元説明できるには至っていない。

現在、計画の見直しは考えていない。また第3次の長期総合計画は今後策定を進めるもので、現時点で組み入れるかどうかを明確にすることは難しい。

コミュニティバスに連携した 小平駅北口広場の活用

佐藤 充議員(共産) 小平駅北口広場を日常的に市民に開放することについて、西武鉄道の理解と協力を得て、検討・努力できないか。利用方法としてはタクシー乗り場などが考えられるが、市民が改めて検討するものとし、できるだけコミュニティバスの運行開始日に合わせて

6人などである。試行運行を実施している市はなく、小平市のみが予定している。

コミュニティバス試行運行に 当たって広く市民の声を

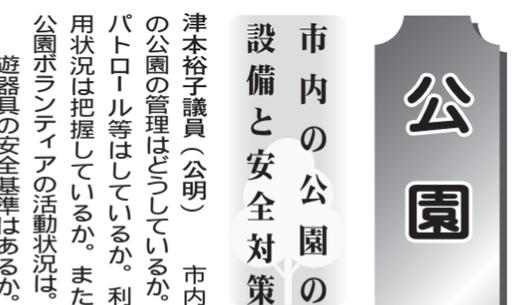
立花隆 議員(公明) コミュニティバスの車両は、メンテナンス上での問題は少ないのか。コミュニティバスの保管場所である西武バス小平営業所からの乗車はできないか。小平営業所と路線の起点である小平駅や津田団地との間に、停留所を設けられないか。

試行運行ルートに問題があれば、今回の地域以外も含めルートを大胆に変更できないか。

市長 電気系統の故障が最も多いと聞か、改良により、従来の欠点は改善されている。

定時性の確保が困難となるなど課題も多くあり、ルートの延長は考えていない。

現時点では現在のルートに全力を傾けて頑張っていく。



小平駅北口広場

公園・用水

市内の公園の 設備と安全対策

津本裕子議員(公明) 市内の公園の管理はどうしているか。パトロール等はしているか。利用状況は把握しているか。また公園ボランティアの活動状況は。

遊具の安全基準はあるか。砂場の砂は殺菌をしているか。公園が防犯上危険であるとの認識と対策は。危険箇所マップ等を作成してはどうか。防犯まちづくりの今後の取り組みは。

市長 安全な公園を目指して管理しており、私有地内は自主管理をお願いしている。職員が日常的に点検し、利用状況を把握しているが、人数等は調査していない。ボランティアに草刈り、剪定等をしてもらっている。国土交通省の指針等を参考にしている。殺菌はしていない。

特に危険との認識はないが、公園内への見通しをよくする、警察に相談するなど対応していくマップ作成は考えていない。安全な公園の環境づくりを目指す。

愛犬を自由に遊ばせる公園を設置すべきでは

常松大介議員(緑ネ) 犬は盲導犬、聴導犬などのように暮らしの役に立ち、また人間の心のケアをする効果も期待できる。しかし、犬もストレスにより、健康面、精神面を左右され、ストレスを解消するために散歩が必要である。そこで、ほとんどが犬の立ち入り禁止となっている公園を、犬の遊び場、飼い主と触れ合う場として開放することはできないか。

市長 中央公園等ではペットを連れて入園できるが、犬を自由に遊ばせる公園については、犬の鳴き声や衛生的な面等から相応な広さが必要で、他の公園利用者や近隣の理解も必要などから、現時点では困難である。

鈴木町の農業検査所を めぐって

住田景子議員(緑ネ) 独立行政法人農業検査所の新しい施設について、住民が都に建築確認の取り消しを求め、8月に都建築審査会は建築確認処分を取り消す判決をした。しかし、建物はできてしまっており、市はこの結論に対しどう考え、今後どうすべきと考えるか。

この建物に隣接する都営住宅には公民館の閉館が予定されているが、西側の道路は現在どうなっており、またどうしていくつもりか。

市長 都は建築審査会の判決に伴い、農業検査所に対し、建築物の工事停止の通知をしたと聞いている。今後は農業検査所



鈴木町の農業検査所

環境基本計画とエコダイヤラ

ネットワークの進行管理

環境基本計画とエコダイヤラ

苗村洋子議員(緑ネ) 環境基本計画、エコダイヤラ・オフィスの計画、市民版環境配慮指針の3つの計画の役割分担は。

環境基本計画とエコダイヤラ



給食から出る生ごみを処理(学園東小学校)

環境マネジメントの視点が必要であると思うがどうか。

市長 環境基本計画は、環境に配慮した行政施策を展開する上での基本的な方向を示したもので、エコダイヤラ・オフィス計画は、市役所が市民・事業者等の模範となるよう環境配慮の取り組みを示したものである。市民版環境配慮指針は、環境基本計画の目標達成のために、市民・事業者がみずから取り組むことができる環境配慮行動をまとめるものである。

どちらも毎年実績を取りまとめ、内部的には小平市環境施策推進本部へ、外部的には小平市環境審議会へ報告する中で進行管理をしていく。

指針の普及・啓発に取り組んでいきたいという意見もあり、計画推進上、必要と考える。

小学校の生ごみ処理機を夏休み等に住民が利用したい

住田景子議員(緑ネ) 学校の長期の休み中に、小学校の生ごみ処理機を利用したいと熱心な

住民が希望しているが、どう考え、どう実現していくか。

教育長 小学校の生ごみ処理機は、小学校給食から出る生ごみをすべて処理することを目的に、小学校全校に導入したものである。地域住民の利用については、学期中は、衛生面や機械の処理能力から考えて困難だが、長期に学校が休みの期間であれば、リサイクル推進課の啓発的な事業において、利用が可能と判断している。

エネルギービジョンの 策定

苗村洋子議員(緑ネ) 省エネルギーを進めるためにどんな施策を考えているか。

小平でも導入できる自然エネルギーについて考えは。エネルギービジョンを策定する必要があらうと思うがどうか。

市長 行政、事業者、市民が一体となって取り組む必要があると考えており、市民や事業者への普及・啓発と市の施設での率先した取り組みを進めたい。

太陽光発電が最も効果が高いと認識している。

小平市環境基本計画の施策の方向性に沿って具体的な取り組みを進めていくので、現段階でエネルギービジョンを策定することは考えていない。

環境 上下水

環境基本計画とエコダイヤラ

ネットワークの進行管理

環境基本計画とエコダイヤラ

苗村洋子議員(緑ネ) 環境基本計画、エコダイヤラ・オフィスの計画、市民版環境配慮指針の3つの計画の役割分担は。

環境基本計画とエコダイヤラ